

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|---------------|
| ○事業所名 | 夢門塾ゆうゆう網干 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 12月 1日 | | 2025年 12月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 46 | (回答者数) 35 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 1日 | | 2025年 12月 30日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 当事業所は、子ども一人ひとりに合わせた個別支援の質が高く、特性理解に基づく専門的支援が実施されています。保護者評価においても「的確に見てくれている」「安心して任せられる」といった声が多く、支援の信頼性があります。 | 活動が固定化しないよう、過去の活動を振り返りながら新しい内容を取り入れ、子どもの意見も反映しています。子ども主体の活動づくりが行われています。 | 地域交流や地域連携の機会を少しずつ増やし、社会性や地域参加の機会を広げていきます。 |
| 2 | 職員間の情報共有体制が整っており、申し送りノートやカンファレンスを活用することで、非常勤職員を含めた共通理解が図られています。チーム支援体制が機能している点は大きな強みです。 | 自己決定を育てる支援を意識し、選択の機会を設けたり、失敗も学びとして捉える声かけを行っています。自己肯定感の育成につながる支援です。 | 保護者交流会や就労に関する情報提供など、将来を見据えた家族支援の充実を図ります。 |
| 3 | 安全管理・環境整備への意識が高く、構造化された環境設定、清掃の徹底、避難訓練やマニュアル整備などが適切に行われています。保護者からも安心感への評価が高く、通所満足度につながっています。 | 送迎時や連絡帳、電話を活用し、保護者との日常的な情報共有を丁寧に行っています。相談しやすい関係性づくりができています。 | 職員研修を継続し、支援の専門性と引き出しを増やしていきます。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 地域との交流や地域活動への参加機会がまだ十分とは言えない状況があります。 | 地域交流は時間・環境・調整面で現実的な制約があります。 | 地域行事参加や交流活動を無理のない範囲で継続・拡大します。 |
| 2 | 第三者評価や外部評価の機会が限定的であり、客観的評価の機会を増やす余地があります。 | 外部評価は制度的・時間的な調整が必要で実施機会が限られています。 | 就労支援や進路情報に関する研修・座談会の開催を検討します。 |
| 3 | 卒業後の進路や将来に関する情報提供をさらに充実させることへのニーズがあります。 | 進路支援は専門性や情報量が必要で、準備に時間を要します。 | 外部視点を取り入れる機会を意識的に設け、支援の質向上につなげます。 |